

関西支部シニア会活動報告

行事名	シニア会と学生会との交流会
回次	第 15 回
開催日	2021 年 10 月 24 日 (日)
場所	Zoom を使用してのオンラインでの開催
参加人数	37 名
行程	<p>午後 2 時～5 時。今回の交流会は、「シニア会と学生会との討論会～これからの技術者に求められるものとは?～」とのテーマを掲げて開催。参加者は、シニア会から 8 名、学生会からは学生会担当幹事長の西田耕介先生と学生 28 名 (当日、数名の学生が参加できなかったようであるが、その正確な人数は不明)。</p> <p>まず最初に古池治孝シニア会会長の開会あいさつがあり、続いてシニア会会員の坪田博隆氏から、「Society 5.0 for SDGs～スマート社会実現に向けた技術者の役割」と題する基調講演がなされた。その後、グループ別自由討論に参加されるシニアメンバー (久保司郎氏、谷川雅之氏、溝口孝遠氏、中川平三郎氏、谷口遭氏、林) による自己紹介を兼ねた提言がなされた。ここまでの進行はシニア会側の林が担当したが、このあとは学生会委員長の井上武琉君 (京都工芸繊維大学) にバトンタッチし、まず井上君より学生会の活動紹介がなされた。続いて、学生による発表「私の研究の紹介と将来の夢」として、網川堅也君 (京都工芸繊維大学) と岡田滉平君 (関西大学) の発表があった。休憩を取った後、学生会担当幹事長の西田先生のガイドによって、Zoom のブレイクアウトルームを使って、グループ別自由討論会を実施した (あらかじめ参加者をグループ 1～4 の 4 グループに配属しておき、各人がそれぞれの部屋に入室して討論)。各グループでの自由討論終了後、総括として、各グループの代表学生諸君から、各グループでの討論内容について報告。最後に学生会の西田先生から締めめの挨拶があり閉会。</p>
感想	<p>コロナ禍により昨年は中止となり、今年度もいつもの対面による交流会の実施が困難なため、Zoom を使ったオンラインでの実施となった。初めてのことであるので、プログラムや時間配分などに悩むところもあったが、今回は、学生会側の協力、特に担当幹事長の西田耕介先生 (京都工芸繊維大学) の心強いご支援・ご協力を得ることができ、大過なく終えることができた。坪田氏による基調講演では、人間中心の快適で、活力ある質の高い未来社会 Society 5.0 を実現するために、技術者が果たすべき役割と社会貢献について、ご自身での取り組み (持続可能な産業化の推進→ROBOTICS、食料の増産やロスの削減→AGRITEC、温室効果ガス排出削減の推進→CASTIC) の紹介を交えて解説され、経済発展と社会的課題の相反 (トレードオフ) 解決が技術者の社会貢献であると語られた。最後に、これからの社会を担う学生諸君へのはなむけとして、日本電産創業者の永守重信氏の言葉を結びとして紹介された。坪田氏のこれまでの豊富な経験と、現在もなお現役の技術者としての進行形の事例に基づく講演内容は、学生諸君にとって大変に有益なものであったと思われる。学生会委員長の井上武琉君による関西学生会の活動紹介では、他支部学生会では見られない豊富で活発な活動が行われていることが紹介された。また、「私の研究と将来の夢」と題する 2 件の学生の発表も、シニアメンバーにとっては良い刺激になったと思われる。ただ、例年最も盛り上がるグループ別討論会は、いつもの同一会場で対面での実施の場合と異なり、今回はオンラインでの実施であったため、各部屋でどの程度の活発な討論がなされているのかが把握できず、時間不足であったとの意見も、後で聞かれた。グループ別自由討論会後の総括では、各グループの代表学生から、①年齢差があるからこそ、有益な討論ができた、②大学、企業、それぞれの環境での研究活動について有益な経験談を聞くことができた、③人生で苦労したこと、企業で研究をしていく上でのモチベーションなどについて、シニアから有益な話を聞くことができた、④シニアメンバーの成功談、失敗談を聞かせてもらい、また企業では自分がやりたいことができるものではなく、少なくとも 3 年は我慢せよとのメッセージがもたらされた、といった報告がなされた。</p>

写真1 坪田博隆氏による基調講演 1

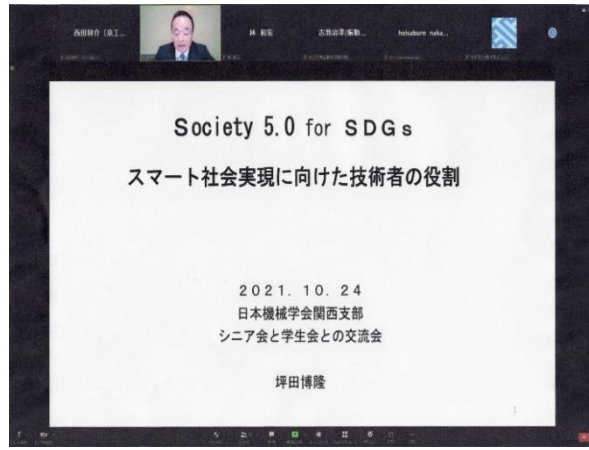


写真2 坪田博隆氏による基調講演 2



写真3 坪田博隆氏による基調講演 3



写真4 参加者の集合写真

